南箕輪村むらづくり委員会（第 24 回）会議録

令和７年９月 16 日（火）午後７時～７時 50 分
場所：南箕輪村役場　講堂

出席者
足立 芳夫 委員（会長）、松田 聖一 委員（職務代理）、山岡 勉 委員、長谷川 義隆 委員、加藤 直樹 委員、高木 武 委員、酒井 きよみ 委員、清水 真知子 委員、伊久間 美昭 委員、伊澤 武善 委員、清水 克俊 委員、小椋 信子 委員、菅家 美果 委員、新村 典久 委員、平野 幸代 委員、千 菊夫 委員、富岡 順子 委員、吉川 つづり 委員、三澤 聡 委員
（事務局）
地域づくり推進課長　高橋、地域づくり推進課企画係長　北原、企画係　小澤
欠席者
唐木 茂人 委員、北原 泰司 委員、田口 和弘 委員、橋場 麻衣子 委員、入倉 眞佐子 委員、宮坂 大樹 委員、原 和彦 委員、井口 千鶴 委員、稲生 正徳 委員

1. 開会

松田職務代理より開会の言葉があり、開会した。

2. 会長あいさつ

足立会長より、暑さが続く中での出席への謝意が述べられた。
また、総合計画、創生総合戦略及び人口ビジョンの最終的な取りまとめの段階に入っていることから、活発な審議をお願いしたい旨のあいさつがあった。

3. 協議事項

本日の協議事項は、人口ビジョンの答申案、第６次総合計画前期計画・創生総合戦略の答申案、その他であった。

（1）南箕輪村人口ビジョンの答申（案）について

事務局から、9 月 16 日版の資料を用いて、前回会議以降の主な修正点について説明があった。

事務局説明の概要

- 各グラフにタイトルを追記した。
- 20 ページについて、前回掲載していた女性の配偶率比較表は削除した。
- 一部グラフの色合いを見直し、見やすさの改善を図った。
- 45～46 ページの長野県のシミュレーションについては、国の動向だけでなく県の動向も踏まえて南箕輪村の方向性を考える必要があることから、引き続き掲載することとした。
- 47 ページの「取り組みの方向性」は、前回の「四つのハイウェイ」表現から見直し、創生総合戦略の４つの目標を記載する形に改めた。
- 年号表記の不整合、目次と表題の不一致、22 ページの転出先別社会動態に関するグラフと説明文の整合などについて、再度確認し修正する考えが示された。
- 次回会議では答申案として概ね確定した形にしたいため、本日の意見を踏まえ、修正を進めるとの説明があった。

委員からの主な意見

- 図表下の「出典」の表記について、漢字が適切でない箇所があるため修正すべきとの指摘があった。
- 5 ページの「令和 5 年、2024 年」の記載について、和暦と西暦が一致していないため確認が必要との指摘があり、事務局から「令和 5 年、2023 年」へ修正する旨の説明があった。
- 27 ページの説明文について、「女性の特化係数が 2.5 近くとなっているため」とすると因果関係が強く読めるため、「2.5 近くとなっており」など、並列的な表現に見直した方がよいとの意見があった。
- 40 ページの「結婚出産支援事業の拡大」は、アンケート等との整合を踏まえ「拡充」とすべきとの指摘があった。
- 45 ページの長野県シミュレーションの説明文について、文章が長く読みにくいため、文を分けることや、「数値目標を選定され」ではなく「数値目標を選定し」等の表現へ見直すことが提案された。
- 46 ページの「県内大学の収容力の向上、県内大学への進学推進」について、村として具体的に実施できる内容なのか分かりにくいとの意見があった。
- これに関連して、村が直接実施できる内容と、県等への働きかけとして整理すべき内容を区別して表現した方がよいとの意見が出された。

事務局の対応方針

- 5 ページ、27 ページ、40 ページ、45 ページの表現修正については、指摘を踏まえて見直すとした。
- 46 ページの県内大学に関する記載については、村が主体的に取り組める内容として適切な表現となるよう、再検討することとした。
- 本日以降の追加意見も踏まえ、次回会議で答申案としてまとめられるよう修正を進めることとした。

（2）第 6 次総合計画前期計画・創生総合戦略の答申（案）について

事務局から、9 月 16 日版の総合計画資料を用いて、前回からの主な変更点及び今後の進め方について説明があった。

事務局説明の概要

- これまで前半と後半に分かれていた総合戦略部分を、後半にまとめる構成に変更した。
- 総合計画の各政策に関する指標一覧を新たに巻末付近へ掲載した。
- 178 ページ以降に総合戦略の本文、施策一覧、目標指標一覧をまとめ、全体として見やすい構成にした。
- 欠席委員からメールで寄せられた意見も含め、表記や文章表現について再度見直しを行う予定である。
- 10 月 7 日の次回会議では、概ね確定した答申案を示したい考えであり、そのため今月最終週には修正後資料を各委員へ送付する予定である。
- 追加意見がある場合は、9 月 25 日頃までに提出してほしい旨の依頼があった。

委員からの主な意見

- 指標一覧の数値について、例えば「43.1%」が何に基づく数値なのか、一覧表だけでは分かりにくいとの意見があった。
- 事務局からは、該当数値は村民アンケートにおける満足回答の割合である旨の説明があった。
- 委員からは、一覧表の段階で「アンケート満足度」など、数値の意味が分かる表現を付した方がよいとの意見があった。
- 別の委員からも、数値の根拠や意味が一覧を見ただけで分かるよう、住民アンケートに基づく数値であることや必要な注記を分かりやすく示す工夫が必要との意見があった。

- 会長からも、総合計画側・総合戦略側の指標一覧はいずれも、一覧だけでは分かりにくい面があるため、なるべく見ただけで分かる表現上の工夫をしてほしい旨の整理があった。
- 161 ページについて、見出し文字の色が本来緑であるべき箇所が黒になっているとの指摘があり、事務局から修正する旨の説明があった。

事務局の対応方針

- 指標一覧については、一覧だけでも指標の意味や算出元が分かるよう、表記方法や紐づけの工夫を検討することとした。
- 161 ページの文字色については修正することとした。

（3）その他

委員から特段の追加協議事項はなかった。

4. その他

事務局から、次回日程等について説明があった。

- 次回の第 25 回むらづくり委員会は、令和 7 年 10 月 7 日（火）午後 7 時から、役場講堂で開催予定である。
- 次回会議では、人口ビジョン及び第 6 次総合計画前期計画・創生総合戦略について、答申案としてほぼ固めた形を示す予定である。
- 修正後資料は 9 月最終週までに各委員へ送付する予定であり、追加意見がある場合は 9 月 25 日頃までに提出してほしい旨の依頼があった。
- 委員から、資料送付は紙ではなくデータでも対応可能ではないかとの意見があり、事務局から、希望する委員には PDF データで送付する旨の説明があった。

5. 閉会

松田職務代理より閉会の言葉があり、閉会した。